

令和3年度熊本県高等学校総合体育大会柔道競技大会実施要項

- 1 大会名 熊本県高等学校総合体育大会柔道競技大会兼全九州高等学校体育大会・全国高等学校総合体育大会県予選
- 2 主催 熊本県高等学校体育連盟・熊本県教育委員会
- 3 後援 熊本県柔道協会
- 4 主管 熊本県高等学校体育連盟柔道専門部
- 5 期日 令和3年5月28日(金)～5月30日(日)
- 6 会場 山鹿市総合体育館
- 7 競技種目 女子団体戦、女子個人戦、男子団体戦、男子個人戦
- 8 競技日程 女子団体戦 5月28日 13:30 集合 14:00 開会  
男子団体戦・女子個人戦 5月29日  
(男子) 8:30 集合 9:00 開会  
(女子) 12:00 集合 男子団体戦終了後開始  
男子個人戦 5月30日 8:30 集合 9:00 開始  
個人戦の計量(女子) 5月28日 団体戦終了後～30分間(会場)  
個人戦の計量(男子) 5月29日 団体戦終了後～30分間(会場)

全日程(3日間)無観客での開催とする。

大会当日(3日間とも)選手全員に検温を実施し、発熱者(37.5℃以上)及び体調不良の選手は出場させない。

9 競技規定

- (1) 国際柔道連盟試合審判規定及び全国高体連申し合わせ事項によって行う。
- (2) 「優勢勝ち」の判定基準
  - ア 団体試合は「技あり」または「僅差」以上とする。「僅差」は指導差2とする。団体試合において、チームの内容が同等の場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦における優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」以上とする。得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技あり」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
  - イ 個人試合は「技あり」または「僅差」以上とする。「僅差」は指導差2とする。得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い必ず勝敗を決する。なお、延長戦では「技あり」以上の得点、または「指導」の数に差がついた時点で試合終了とする。
  - ウ 「技の内容」と「指導」の重み  
一本勝ち=反則勝ち>技あり>僅差の順とする。

10 競技方法

- (1) 試合(団体試合)
  - ア 試合は点取り試合とする。トーナメント戦により4校選出、4校で決勝リーグ戦を行ない順位を決定する。
  - イ 決勝リーグ戦は勝率高得点による。同率の場合は得点内容を検討する。同率・同点の場合のみ対象チームから任意に選出して代表戦を行う。代表戦は競技規定に準ずる。
  - ウ 代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。
- (個人試合)
  - ア 試合はトーナメント戦とする。
  - イ 「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。延長戦で「指導」の累積により両者が同時に反則負けとなった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。このことは、1回戦から決勝戦までのすべての試合に適用する。
- (2) 個人試合体重区分
  - [男子の部] 下記の7区分とする。  
60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級
  - [女子の部] 下記の7区分とする。  
48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級
- (3) 競技時間  
団体、個人試合とも全試合3分間。ゴールデンスコアは時間無制限。

## 11 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、熊本県高等学校体育連盟に加盟している生徒であること。
- (3) 年齢は、平成14年4月2日以降生まれた者とする。  
ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) チームの編成は全日制課程と定時制課程、通信制課程の生徒の混成は認めない。
- (5) 広域通信制高等学校の参加にあたっては、以下のとおりとする。
  - ① 広域通信制高等学校の加盟にあたっては、全国高等学校体育連盟が示す「広域通信制高等学校本校及び連携校等の都道府県高体連への加盟について（平成26年5月20日全面改定）」を適用する。
  - ② 大会の参加は原則として、熊本県高等学校体育連盟定時制・通信制総合体育大会とする。
  - ③ 運動部活動が教育活動の一環として、日常継続的に顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間帯等の運営が適切であること。
  - ④ ③に伴い全日制大会参加の特例として、運動部活動が可能な学校に在籍し、かつ日常的に県内で練習等の活動が行われていること。
- (6) 複数校合同チームによる大会参加
  - ア 統廃合の対象となる学校について認める。
  - イ 少子化に伴う部員不足による複数校合同チームの大会参加は、別途に定める「複数校合同チームの大会参加規程」に従う。
- (7) 転校・転籍後6カ月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準じる）ただし、一家転住等のやむを得ない場合は、熊本県高等学校体育連盟会長の認可があればこの限りでない。
- (8) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (9) その他の事項については、全国高等学校体育連盟規定、九州高等学校体育連盟規定の参加資格に準ずる。
- (10) 参加資格の特例
  - ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技実施要項により大会参加資格を満たすと判断され、県高体連が承認した生徒について、「大会参加資格の別途に定める規定」に従い、大会参加を認める。
  - イ 上記(3)ただし書きについては、学年の区別を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回までとする。
  - ウ 学年の区別を設けてある課程に在籍する生徒の出場は、3学年までの年齢19歳未満のものに限る。（同一学年の参加は同一競技、1回限り）
- (11) 外国人留学生の参加については（団体戦）男・女共1名以内は認める。  
個人戦参加制限はしない。  
※外国人留学生については、卒業を目的とし入学していること。（短期留学は認めない）

## 12 参加制限

男子（団体試合）監督1名・選手5名・補欠2名の8名とする。

（個人試合）各学校、各階級3名以内とする。

女子（団体試合）監督1名・選手3名・補欠1名の5名とする。

（個人試合）制限を設けない。

※団体戦で補欠と交代する場合は交代者の位置にいれ、一度退いた選手は再度出場することはできない。オーダーの変更は認めない。チームのオーダーは体重・段位によらず自由とする。（団体戦のメンバー変更は1名までとする。）

## 13 引率・監督

- (1) 引率責任者は当該校の教員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（学校教育法施行規則第78条の2に示された者）も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合はスポーツ安全保険（傷害、賠償責任保険等）に必ず加入することを条件とする。

## 14 個人情報の取扱い

本大会の参加申込書等によって取得した個人情報の取扱いについては、「熊本県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき取扱う。なお、参加申込書の提出をもって、これらの取扱いに関して参加者生徒及びその保護者の承諾を得たものとして対応する。

- (1) 参加申込書に記載された個人情報の取扱い
  - ア 大会プログラムへ掲載する。
  - イ 競技場内でのアナウンス等による照会・コールすることがある。
  - ウ 競技場内外の掲示板等に掲示されることがある。

(2) 競技結果（記録）等の取扱い

ア 熊本県高等学校体育連盟ホームページで公開することがある。

イ 熊本県柔道協会ホームページで公開することがある。

ウ 大会報告書、熊本県高等学校体育連盟年報、熊本県高等学校体育連盟周年記念誌へ掲載することがある。

エ 報道機関等の取材により、新聞等のメディアで公開されることがある。

15 参加申込

参加申込に際しては、必ず保護者の同意を得るものとし、同意書（別紙1-1）は各学校で1ヶ月間保管する。証明書（別紙1-2）は大会当日に受付で提出すること。

(1) 申込書類

ア 申込用紙 男子用、女子用

イ 参加生徒一覧

ウ 参加料の振込通知書のコピー（A4サイズ）

(2) 申込方法及び申込先

①<http://www.kumamoto-kotairen.jp/> よりファイルをダウンロードする。

②データを入力後、[koutairen@kumamotojudo.jp](mailto:koutairen@kumamotojudo.jp) へデータを送る。

③データを印刷し、下記の住所に郵送する。

〒862-0950 熊本市中央区水前寺5丁目23-2

熊本武道館内 熊本県柔道協会 宛

(3) 申込期限 5月10日（月）必着

16 参加料

(1) 参加料は、高体連加盟校の生徒一人500円、非加盟校の生徒一人1000円とする。

(2) 納入方法

ア 各学校毎にとりまとめ、加盟校及び非加盟校ともに参加申込みと同時に所定の要領で下記へ振り込むこと。※手数料別

イ 振込先

(株) ゆうちょ銀行	(店番) 718
口座番号 (普通)	3295284
加入者名	熊本県高体連柔道専門部

17 表彰

団体、個人とも3位までを表彰する。

18 諸会議日程

5月11日（火）熊本武道館 高体連柔道部専門委員会で組み合わせを決定する。

19 その他

(1) 団体戦オーダー表は各校準備すること。

(縦×横 約27cm×78cm)

(2) 大会当日に負担金(全国高体連柔道部研究調査報告書代等)4000円をご準備ください。

(3) 柔道着背部には必ず所属及び氏名のゼッケンを着けること。

## 新型コロナウイルス感染症拡大防止に係るガイドライン

- (1) 選手（記録撮影係を含む）の参加は、同意書（別紙1-1）を提出した者に限る。
- (2) すべての関係者（役員・審判員・補助員・顧問・選手）に事前健康観察及び検温を実施し、発熱者（37.5℃以上）や体調不良者の参加は断る。
- (3) 顧問は、選手の健康記録表（全柔連書式）提出すること。（大会前2週間分）
- (4) 顧問・選手（補助員含む）は、入場日毎に検温確認表（別紙2）を提出すること。
- (5) すべての来場者はマスクを着用すること。部員もアップ中及び試合中以外はマスクを着用すること。また、他の参加者との距離を確保（2m以上）し、大きな声での会話、応援はしない。
- (6) 無観客での開催とする。  
試合は YouTube で配信を行う。（転用・公開禁止）
- (7) 試合場（1階フロア）に入場できるのは、選手・顧問・補助員・大会役員・大会関係者とし、IDを配布する。
- (8) 会場入り口に消毒液を設置する。トイレに石鹸・消毒液を設置する。各試合場に消毒液を設置する。会場内に感染拡大防止の表示を行い、施設や用具は適宜消毒及び換気を行う。
- (9) 感染拡大防止のため、ゴミは各自で持ち帰ること。
- (10) 大会・報道関係者は会場入口で感染防止チェックおよび入場者名簿（別紙5）の記入を行う。必ず検温し、発熱者（37.5℃以上）および体調不良者の入場は断る。また、取材は指定の場所で行い、2m以上の間隔をとること。
- (11) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告すること。
- (12) 感染防止のため、更衣室の使用は、密にならないよう間隔を開けて更衣すること。
- (13) 競技への参加（体育館への入場）は、顧問及び登録選手とする。ただし、各学校2名（生徒又は教職員）まで記録撮影として2F観客席（1F競技フロアへの入場不可）に入ることを可とする。※検温確認表（別紙2）を提出。

### 【大会までの流れ】

以下の4点を、各校顧問の先生方で実施し、提出して下さい。

提出物書式は参加申込（Excelファイル）のシートにあります。

- ① 選手・部員に同意書（高体連書式：別紙1－1）を提出させる。（各校1ヶ月保管）
- ② 証明書（高体連書式：別紙1－2）を大会当日提出する。
- ③ 選手の健康記録表（全柔連書式）を記入（大会前2週間分）し、大会当日提出する。

**※出場初日に提出。（団体・個人ともに出場する生徒は1回のみ提出）**

- ④ 顧問・選手・補助員・記録撮影係は、検温確認表（別紙2）を入場日毎に提出する。

**※検温確認表（別紙2）は、入場日（前日計量含む）ごとに毎日提出して下さい。**

### 【大会当日の提出物】

- ① 証明書（別紙1－2）
- ② 健康記録表（全柔連書式）：選手

※選手は別紙2と重複しますが、全柔連ガイドラインにより提出をお願いします。

- ③ 検温確認表（別紙2）：顧問・選手・補助員・記録撮影係

**大会に係る新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインを守られなかった場合、また提出書類に不備があった場合は参加できません。**